

**計 画 期 間**  
**学 校 教 育 目 標**

平成18年12月1日～平成22年3月31日

一人ひとりが学ぶ意欲をもち、自分らしさを発揮できるようにします。  
互いの良さを認め合い、共に生きる喜びを味わえるようにします。  
社会の基本的なモラルを身につけ、粘り強く問題を解決できるようにします。

**学 校 経 営 方 針**

学校教育目標を実現するため、教職員相互の信頼を基調に、積極的な参加と創意工夫を尊重した生氣あふれる経営活動を推進します。

- 学校施設がよくないなかで、教師こそが最大の教育環境であり、自己研修と共同研究に励み、教育職としての豊かな教養と専門性の向上に努める。
- 教職員個々の特性を生かしながら、和を基調とした組織的な協力によって、創造性の高い学年・学級の経営を推進する。
- 家庭・地域との連携を深め、地域に根ざした特色ある学校づくりに努める。

**指 導 の 重 点**

- 基礎・基本の確実な定着を図るため、各教科等の学習指導の充実に努めます。
- 体験的な活動を通して課題解決ができるように努めます。
- 6年生をリーダーにした異学年交流や学校外の人々との交流の中から豊かな人間性を養います。

**改 善 の 視 点**

**取 組 目 標**

1 子どもの学力に関する議論がある中で、教科等の指導の充実に努めていく必要があります。

- ◎平成19年度から横浜市学習状況調査を活用して、通過率が50%以下にならないようきめ細やかな学習指導をします。
- ◎教員の特性を生かし、中学校につなげていけるよう高学年での教科担任制を実施します。
- 学年研究を生かした授業研究に全教員が取り組み、継続性のある研究にします。
- サポートデイを設定し、水泳学習、振り返り学習や興味関心に挑戦できるようにします。
- 保護者の力を借りて、情報教育を進めます。

2 現代社会の中で、規範意識や公共心などの欠如が問題になっており、豊かな心を育む必要があります。

- ◎毎週水曜日の「朝の読書活動」と保護者の読み聞かせの会を継続して、本が好きな子を増やしていきます。
- ◎挨拶運動を児童会とともに展開し、挨拶する子が計画期間で80%できるようにします。
- 学校を開く週間で全クラスが道徳の授業公開を行うようにします。
- 縦割り活動で相手を思いやる心を育てます。

3 市全体として子どもの体力向上が課題となっています。家庭や地域と連携しながら体力向上を図っていく必要があります。

- ◎休み時間を確保して外遊びができるようにするとともに、体育委員会主催の縄跳び大会やゲーム大会を実施します。
- 生涯学習につながる体を動かすことの好きな子になるよう体育の学習を位置づけます。
- 様々な大会を紹介するとともに、大会参加ができるよう応援します。

4 子どもの安全を脅かす事件が後を絶ちません。安全・安心な学校づくりが必要となっています。

- ◎下校時刻を守り、児童が一人で下校しないようにします。
- 家庭・地域の見守り活動が継続してきていることを大事にしていきます。併せて吉原学援隊を立ち上げ、地域と連携した見守り活動にします。
- メール配信で情報発信をしていきます。
- 子ども110番の家が100以上あることを大切にしていきます。